

2021. 01. 17. クリスチャンの迫害（新約聖書：第二テモテ 3 章 10～13 節）

https://www.youtube.com/watch?v=_QP23s1oBFQ

『クリスチャンの迫害』では、おはようございます。第二礼拝へようこそ。これは聖書を一節一節を学ぶ「聖書の学び」です。現在、「テモテへの手紙第二」で、今日の御言葉箇所は、第 3 章、10 節から 13 節です。すぐにお話ししますが、大変興味深い内容です。「聖書預言・アップデート」におられなかった方や、オンラインでご覧になっておられない方のために、簡単に「聖書預言・アップデート」の内容をアップデートしたいと思います。ご存知かと思いますが、先週の“決断の時”と題した預言アップデートが検閲され、YouTube は、“医学的誤情報”に関する 利用規約違反という理由で、削除しました。水曜日の夜遅くまでに、動画再生回数は 30 万回を超えていました。4 日間、公開されていたということです。驚きなのは、実は、もっと早く 削除されるかもしれないと思っていたのです。しかし、その動画をご覧になりたい方のために、今日の「聖書預言・アップデート」動画の下にリンクを載せています。オンラインでご覧になれます。検閲不可の、JDFarag.org で閲覧可能です。非常にエキサイティングな話で、先週その動画を見た結果、イエス・キリストの救いにたどり着かれた証を、私たちが把握している限りで、3 人以上の方から頂いています。主を褒めたたえます。[拍手]ありがたいことに、まだ Youtube を利用できていますが、12 年間で、2000 本以上の礼拝動画を公開し約 25 万人もの登録者がおられますが、あと 2 回検閲に引っかかれば、終わりです。チャンネルは削除されます。昨年、主が、JDFarag.org の構築を示唆されたのは、それを見越しての理由からでした「箴言 22 章 3 節」が教えています。

「賢い者はわざわいを見て身を隠し、浅はかな者は入って行って痛い目にあう。」

私たちは、この悪が来るのを見て、回避し、必要な措置を講じ、全ての「預言・アップ」や関連の”行き先”とするため、新ウェブサイトに全力で取り組みました。私たちは、このウェブサイトを段階的に展開していく計画で、現在は、第 1 段階（フレーズ 1）です。皆さんの忍耐に、非常に感謝しています。御心なら、まもなくビッグテック以外のホスティングリソースを追加で構築し、JDFarag.org から直接ライブ配信します。同時に、YouTube などのプラットフォームに 可能な限り留まる予定です私たちが取る姿勢は、「蛇のように賢く、鳩のように素直に」です。（マタイ 10：16）このようなことに、驚きも揺ぶられもしませんが、主が、どのように私たちをこの状況から乗り越えさせられたいのか、見極めれるよう、皆さんの祈りを切望します。言うまでもなく、これは「ビッグテック・巨大企業」の 権力、支配、検閲の始まりに過ぎないようです。繰り返しますが、「預言・アップ」に来られていなかった方や オンラインでご覧にならなかった方のために、私が皆さんにこうすることをお勧めします。真っ向から取り組むのです。”しかし、神は。” ビッグテックよりも、神は無限で偉大です。その件は、ここまですして、興味深い今日の箇所は、「テモテへの手紙第二、3 章 10～13 節」です。

未だの方は、その箇所をお開き下さい。 オンラインでご参加の方も、同様をお願いいたします。ここにお越しの方で、可能であればお立ち下さい。 私が読みますので、ついてきてください。 ご無理な方は、座ったままで結構です。使徒パウロが聖霊によって、テモテに手紙を書いています。 それはむしろ警告のようなものです。

テモテへの手紙第二、3章

「しかしあなたは、私の教え、生き方、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、」 ー10 節ー
「また、アンティオキア、イコニオン、リステラで 私に降りかかった迫害や苦難に、よくついて来てくれました。 私はそのような迫害に耐えました。そして、主はそのすべてから私を救い出してくださいました。」 ー11 節ー

「キリスト・イエスにあつて敬虔に生きようと願う者はみな、 迫害を受けます。」 ー12 節ー

「悪い者たちや詐欺師たちは、だましたり、だまされたりして、ますます悪に落ちて行きます。」 ー13 節ー

ご一緒に祈りましょう。 私たちが理解できるよう、神に祝福をお願いしましょう。 主よ、今朝私たちの前に与えられた聖句が、 深刻な節であるのを、十分に認識しています。 私たちに与えられた聖句の中で、 あなたが示されたいと考えておられることを知るために、 聖霊が、私たちに理解する目を与えてくださるよう、切にお願いします。 主よ、聖霊が必要です。 私たちを集中させてくださり、 あなたに細心の注意を払うことができますように。 主よ、今日あなたが示そうとされている全て、 また、あなたの御言葉を見逃さないよう、 気を散らせるような思考から遠ざけてくださるよう 聖霊の助けが必要なのです主よ、私たちは、聖霊があなたの教会に言われることを 聞き分ける耳を持つ者になりたいのです。 イエスの御名によって祈ります。 アーメン、アーメン。

ご着席下さい。 ありがとうございます。 今日、迫害についてお話ししたいと思えます。 いえ、それは事実ではありません。 このことについては、話したくはありません。 しかし、話す必要がありますね。 具体的には、終わりの日のクリスチャンに関連する事で、それが実は、パウロがテモテに書いている文脈なのです。 これは、本当に、パウロからテモテへの最後の言葉です。 パウロは、自分の残された時間が短いことを知っており、彼の残りの日々は数えるほどで、もう時間の問題でした。 そしてこれは、彼がとても愛しているテモテへの 別れの言葉ですパウロは、もうテモテのそばにいてあげられないことを知っており、 テモテも、使徒パウロの残された時間が長くはないのを知っています。 だからパウロは、テモテに警告を伝える手紙を書き、 テモテが被るであろう一迫害一に備えさせようとしているのです。 先週、私は感じたのですが、私はいつも聖書を一節一節読みながら、御心を求めます。 9 節まで学び終えた時、 10 節には、まだ手をつけるべきでないと思ったのです。 そしてその理由がわかりました。 先週、9 節まで読んだのですが、10 節からパウロは、クリスチャンが迫害されること、そしてそれが今後のクリスチャンに待っていることだと話し始めますこれは、人気のある教えではありませんよ

ね？ そう思いませんか？「イエーイ。今日、牧師は何の話をするんだろう？」 「迫害について！！」主を褒めたたえます.. これは、終わりの時にまさにそうなると言われていた通り、一他に良い言い方が見つかりませんが一、検閲の標的になることや、クリスチャンへの迫害に関する、召しであると主張します。繰り返しますが、「預言・アップ」は、まさにそのような内容でした。”これが終わりだ”ということが、これによって証明されています。ところで、ネタバレです。パウロがこの御言葉で語っている通り、一直ぐにお話しますが一それはさらに悪化していきます。私は、聞きたくありません。皆さんも、聞きたくないはずです。それはさらに悪化していくだけではなく、既に悪化しているのです。同意されますか？ 今日の箇所に入ります。使徒パウロは、テモテに、迫害について明確に警告していて、ここに修飾語句があります。それは、「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者への迫害」です。繰り返しになりますが、これは条件のようなもので、「君はクリスチャンだから、迫害を受ける。」と言うわけではありません。必ずしもそうとは限りません。この先の日々に、クリスチャンとして、私たちに待ち受けているかもしれない事を考えると、これが、どれほど重要で、タイムリーなのかは、誇張してもしきれません。お許しいただけるなら、2つの真理について説明させてください。それを「人生を変える真理」と呼んでます私は、これを使い過ぎたくはありませんが、しかし、その通りなのです。何が来ても、心が揺らぐことのない希望を持ちながら、私たち一人一人が、立ち留まるべき真理です。迫害。

1 番目、10 節と 11 節。再度、「預言・アップ」でも話しましたが、当たり前なのは自覚していますが、皆さんが、最後までお聞きくださるのを望みます。”主は、あなたを救い出してくださいませ。”「ああ、わかっています、わかっています、わかっていますよ。」いや、待って、待ってください。主はそうなさいます。もう一步踏み込んで言わせてください。正しい英語でないのは、分かっていますので、どうかメールしないでくださいね。彼は、”出来ない” が御出来になりません。詳しい方はお分かりだと思いますが、二重否定ですね。神がどういうお方であり、どれほど良い方であるかに一貫して、神が、あなたをお救いにならないことはありません。彼は、皆さんを救われます！ そう思えないのは分かります。そんな気がしないのはわかっています。確かにそうは思えませんが。しかし、ここでパウロは、テモテに自分の人生を、手本として思い起こさせ、具体的に、パウロの生き方について言及しています。様々なことがあったにもかかわらず、パウロは教義的に健全でした。何があったかはご存知ですよ？ ご存知ない方は、「コリント人への手紙」を ご覧になってみてください。何度難破したか、何度ぶたれたか、何度石打(stoned)にされたか、彼の経験を詳細に書いています。こんにちその言葉の意味は変わってしまいましたが。（俗語で”stoned”は酒や麻薬で酔っ払うこと）「お～パウロは酔っ払っている～」ではありません。彼は、当時の人って、なんて残酷な殺し方をするんでしょうね。石を、死に至らせるまで投げるのです。どうでしょうか。

彼らが、何度、パウロにそうしたのでしょうかこれらの聖句で、彼の人生、彼の人生を手本として示すだけでなく、考えてみれば、彼が人生で迫害された理由そのものにあたる 9つの敬虔な特徴を、挙げているのにご注目ください。

パウロが迫害されたのは、彼が人生をこのように生きたからなのです。早速、手早く見てみましょう。彼は、”私の教え”と語り始めます。いくつかの翻訳では、“私の教義”と訳しています。それはどういう意味でしょう？彼は健全でした。間違いなく健全だったのです。神の御言葉の健全な教義に。何よりも第一に、事実、それ以外の他の全ては、この基盤からくるのです。彼の教えは、教義的に健全でした。彼は、神の御言葉と、御言葉の神を知っていました。全ての事がそれに従っており、このリストの他の8つは、全てその結果なのです。彼の生き方です。彼はそのように生きました。ヤコブ（ヤコブ 1:22）が言うように、パウロは「御言葉をただ聞くだけの人」や、ただの説教者や教師ではありませんでした。彼は実行者です。本当に実行したのです。彼は、神の御言葉によって生きていました。それが、リストの2番目にあります。3つ目は？彼の目的です。4つ目は？信仰です。もちろん彼の信仰です。なぜなら、信仰はまさにそのように来ませんか？信仰は、神の御言葉を聞くことによって、来るのです。（ローマ 10:17 参照）彼の寛容。彼の愛。そして、ちょっとここで方向が変わります。私は今のところ大丈夫ですが、皆さんどうですか？私は大丈夫です。健全な教義？良いですね、主を褒め称えましょう！みんなに広めるのです、兄弟よ！彼の生き方？もちろん！宣べ伝えましょう！彼の目的？良いですね！信仰？そうだ、信仰だ！彼の寛容？まあ早まらずに。彼の愛？それはあんまり…彼の忍耐？おっと…それから彼の迫害と、苦しみになっていきます。「ちょっと待ってください牧師先生、そんなものに契約した覚えはありませんよ。」いいえ、確かにされました。利用規約といえ、皆さんそれを読めますか？それとも、ただ「同意する」をクリックされますか？今は、間違いなく規約に同意させるために、チェックを入れさせられますね。徹底してまです。でも、今までに読まれたことは…？利用規約の一部を読むのに、1週間くらいかかりますね。登録した時点で、何に同意されたかお分かりですか？よくないことです。そして悪化します。基本的には、あなたの情報を全て入手し、それを他に提供し、売り渡すのに同意していることになります。ご自分が、商品だとわかっていますか？あなたは消費者でも、顧客でもありません。あなた自身が商品なんですでは、素敵な午後をお過ごしください。彼らは、製品であるあなたの情報を入手し、売り渡すのです。それが契約条件であり、あなたが契約している内容です。さて、なぜそのような描写を使うかというと、悲しいことに、多くのクリスチャンは規約を理解せず、代償を考えず、信仰の告白をしています。このように例えることを許して頂きたいのですが、何も分からずに契約しています。私は、善意のクリスチャンを責めるつもりはありません。神は、そういう方の心をご存知です。しかし、美しく壮大な絵を、福音伝道のキャンバスに描く私自身のような牧師達に、私も含めて、責任があります。「キリストのもとに来れば、すべ

ての問題は消え去るのですよ〜」冗談でしょ??? まだ始まったばかりで〜す。♪ ー (笑)ー いや、本気で言ってるんです。今日はなぜか、感傷的になっているのですが、この曲、「Oh, Happy Day」を考えていました。 ”Oh, Happy day〜♪ ” ”Oh, Happy day〜♪ ” 確かにそうなんです！ イエスが私の罪を取って、洗い流してくださったので、 ” Oh, Happy Day” ですよ？ 今は、それをお楽しみください！ いいえ、真面目な話です。なぜなら、それが、これから起こることだからです。利用規約はこうです。これが、あなたが契約し同意していることなのです。迫害、苦しみ。「ちょっと待って、何ですって?!」 「因みに、あなたは、日々、十字架を背負うことになります。」 深遠な意味なのは分かっていますが、 ” 日々” という意味お分かりですか？ 毎日のことです！ 毎日、自分の十字架を背負い、自分自身に死に、主に従いなさい。あなたは、自分のものではないから、自分の権利を放棄するのです。言わば、あなたは新しい管理者に、値をつけて買い取られたのです。あなたは神に従い、神のドラムの鼓動に合わせて行進するのです。神のドラムだけに従うのです。あなたの人生の玉座に座るのは、もはやあなたではなく、神です。もはやあなたは、自分人生の指揮を執る (shot) ことはありません。” Shot”(注射という意味も持つ) という言葉は嫌いなのですが、とにかくダジャレではありません。神が指揮されます。彼は、主であり救い主ですよ？ あなたはそれをしっかり描写したことがありますか？ 「そう、イエスは、私の救世主です。」 ああ、それは素晴らしいことです。「彼は、あなたの主ですか？」 ああ、今、聞こえました。これは「ロードシップ・サルベージョン※」ではありません。これは聖化と呼ばれています。 ※真に救われるためには、行うべき必要条件があるとして、福音を複雑にし、救われるための条件として、人を誇らせる。キリストのもとに来たとき、それが救いであり、そして、聖化のプロセスが始まります。因みに私たちは、「ローマの人への手紙 8 章 28 節」が大好きですよ？ お〜「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。」 私たちは、それを歌い、引用し、知り、大好きです。では次の節はどうですか？ 次の節の 29 節は、何と書いてあるかご存知ですか？ 今、調べなくても大丈夫ですよ。宿題にします。またしても、いわゆる聖句の修飾語句ですね。ここでパウロは、次のように述べています。 ”神のご計画にしたがって召された人たち” それはどういう意味でしょうか？ それは、神があなたを適合させ、あなたを形作り、イエスのようにくださるということです。まあ、それは良いですね。 あ、ちょっと待ってください。神がそれをどのようになさるか、ご存知ですか？ イザヤは、それは苦難の炉を通ることだと教えています。「私は、それはしたくありません！」 いやしかし、そうやって、神があなたを適合され、キリストの姿に似せて行かれるのです。再度、ありがとう デイビッド、そして賛美チーム。彼らはあの賛美歌、古き良き、時代を超越した賛美歌を披露してくれました。 ”Have Thine Own Way, Lord.” (なしたまえみ旨を)。私のお気に入りの一つです。 ”God, You’re So Good ”のような、他のお気に入りと同じく、これも

好きです。"Have Thine own way, Lord, have Thine own way. (主よ、あなたの御心通りになさってください。) Thou art the potter; I am the clay." (あなた=主は陶芸家です。私は粘土です。) 陶芸家が、どうやって粘土で美しい器を作るか知っていますか? 「あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。」ーピリピ人への手紙 1章6節ー創造主は、ご自分の作品=原語「poema」に、名前を付けてくださいます。英語で、詩=「poem」の語源です。私たちは、主の作品です。私たちは、彼の芸術作品であり、完成した時には、なんと、彼の御名前を付けてくださり、それは完璧です。問題は、そのプロセスです。陶芸家は、粘土を手に取りることから始めます。陶芸を見たことはありませんか? オンラインでも見ることができます。オンラインで見る動画には気をつけてくださいね。削除されていないなら。でもとにかくー(笑)ーごめんなさい、話が脱線しました。陶芸家は、粘土を手に取り、その中に手を入れることから始め、美しい器を作るために、中の余分なものを全部取り除きます。そして、余分なものを全部取り除いたら、その粘土の塊を、轆轤(ろくろ)の上に乗せます。時速998マイルで回転する轆轤(ろくろ)というものがあります。ご存知ですか? その時あなたは……。「主よ、何をしますのですか~~~~~?」「あなたを磨き上げているのだ! あなたをもっとイエスのようにしているんだよ。」「待って、うわー、うわー、うわー!」そしてあなたがぐるぐる回っているときに、彼、陶芸家は、彼の手で形を整え初め、そして。。。バン!! 「お~~~~」ちなみに私は、今もぐるぐる回っています。でも、それが器を形にするのです。そして最後に、その轆轤(ろくろ)が止まった時は、「は~は~は~、神様、イエス様、ありがとうございます!」彼はその器を取り、それを、その名も相応しい、"kiln/"窯"に入れます。「私を殺す"kill"気ですか?! 炉でしょう?! 神よ、何をしますのですか???'」しかし神は、温度を上げられます。「まだ終わっていないのだよ。」「あ~、神様、これは燃えるような試練です。」「分かっていますよ。」「炉の中です。」「わかっているよ、あなたを磨いてるんだ。」「なぜ、こんな方法なのですか?」イザヤが「苦難の炉」ではなく、「あなたを磨くために、ハワイのビーチを選んだ。」と言って欲しかったです。「それが私の考えた、あなたを磨く方法です。よく磨かれ、日焼けもします。」炉の中でも日焼けはしますが、それが、主のご計画(目的)です。パウロが「彼の目的」と言うとき、それが計画です。「神のご計画にしたがって召された人たち」それが主の計画(目的)です。ですから、人生の中で試練を経験しながら、自分自身に問い、「主よ、この目的は何ですか?」と主に問いかけているのなら、これが答えです。「私は、あなたを、私の息子、キリスト・イエスに、もっと、イエスに似たものになっているのです。」イエスは、どんなお方だったのでしょうか? お~イエスは、謙虚で、柔和で、忍耐強く、愛にあふれていました。彼は愛です。イエスは、優しいお方でした。親切なお方でした。それら全てでした。ちなみにそれは聖霊の実です。それが彼のご計画(目的)です。パウロが、アンティオキア、イコニオン、特

にテモテの出身地であるリステラにいたときに 起こったことを思い出させるのは、興味深いですね。母親はユダヤ人、父親はギリシャ人で、そこで、使徒パウロとテモテが初めて出会いました。パウロの人生の最後のこの時、14年以上の年月が経過していたはずですが。なぜそのように言うかという、リステラで、多くの人がパウロに起こったと考えていることを 彼が「コリント人への手紙」を書くときには、三人称の形で言及しているからです。「14年前、私はキリストにある一人の人のことを知っています。」（第二コリント 12:2 参照）本人が自分のことを語っているのですが、それも興味深いですよ。彼自身に起こったことについて、14年間、誰にも言いませんでした。リステラでの出来事を語っているのですが、何がそれほど、心を捉えるのか分かりますか？ 「使徒の働き」で… そういえば、今から何年前だったかわかりませんが、私たちは「使徒の働き」を学びました。聖書の中でも、最も魅力的な書の一つの 学びだったと思います。パウロの身に起こった出来事について、そこには、非常に多くの詳細があります。ですから、彼はリステラにいたのです。彼らは、パウロを石打ちにして放置し、多くの人は、彼が死んだと信じていました。その時、彼が第三の天に引き上げられて、見せられたのは、自然界の領域では、言い表そうとすることさえも罪になるような、栄光が待ち受けていることです。

「今、私たちは鏡におぼろに、（言わばぼんやり、暗く）映るものを見ていますが」
(第一コリント 13:12)

そして、彼は言うならば息を吹き返し、生き返った後、リステラに戻ります。お聞きください。私は、空気が読めます。一(笑)一 自分を殺そうとしているところへ、私なら戻りません。しかし、パウロは戻るのです。興味深いのは、テモテの出身地だったのです。ここで質問に戻しましょう。なぜ、使徒パウロはテモテに、聖霊によって、自分に起こったことすべてを思い出させる 必要があると考えたのでしょうか。つまり、彼はイコニオンで殺されかけたのです。リステラでは石で打たれ、死にかけました。アンテオケにいたとき、福音を宣べ伝えたために、町から追い出されました。しかし、再度、使徒パウロについて、私は、ある方の表現が好きです。「使徒パウロはどこに行っても、暴動が始まる。」「私はどこに行っても、コーヒーを飲みます。」一(笑)一 しかし、神は。私が信じるのは、パウロはこのことを説明し、テモテにこのことを思い出させて、こう言ったのだと思います「テモテよ、いいか？ 実際には、あなたはリステラにいましたね。」「私の身に起こったことはすべてを知っているだろう？ あなたは、私がどのように生きてきたかを見てきました。」しかし神は”、それらすべてから、私を救い出してくださいました。」キーワードは「すべて」。なぜ私がそこを強調するのでしょうか？ なぜなら、皆さんが乗り越えようとしている時、敵が皆さんの思考に植え付けるのが大変巧いのは、事実ではないでしょうか？ 皆さんが、ご自分のリステラにいる時に。それらの1つが、こんな感じです。「ああ、神がそれを乗り越えさせてくださった。でも、これで終わりだ。☹️」「そうなのですか…？ (泣)」「そうだよ。今回は、乗り越え

られないさ。☹️」預言・アップでも話しましたが、ダビデはこう言います。「しかし神は、獅子や熊から私を救い出してくださった。間違いなく、無割礼のペリシテ人からも救い出してくださいます！」

ー「いや、今回は違うさ。その時はそうだったけど、今回は違う。☹️」それが、敵です。それは、嘘です。神は、昨日も今日も、永遠に不変の神です。(ヘブライ 13:8) 神は、あなたを救い出されるだけではなく、神は、”すべてのもの”から、あなたを救い出してくださるのです。すべて！”すべて”の意味が分かりますか？もう一度言いますが、深遠な意味があります。“すべて”です。あらゆる全てから！それがどんなものであっても、どんなに悪くなっても、どんなに悪くなり得たとしても。事実、それが悪くなる可能性があるだけでなく、私たちが、今やこの瞬間目にしている通り、悪はますます悪化して行っています。それが2つ目、12節から13節です。私は、この2つの節は、聖書の中で最も、とまではいかないにしても、最も不人気な節の1つであると言わせていただきます。聖書を書ごと、章ごと、一節ごとに教えるとき、皆さん、読み飛ばすことはできません。正直に言うと、もし私がこのように聖書を通して 解説的に教えていなかったら、おそらくこの2節は教えなかったでしょう。教えなかったでしょう、と言っているだけです。正直に言うと、私は教えたくありません。「何ですって?!」実際、12節については、なんとか理解できるかもしれませんが、しかし、さらに追い打ちのように、13節にぶち当たります。言い換えれば、「テモテ、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者が 迫害されるだけではなく、あなたが敬虔に生きているために迫害に苦しむ間に、悪が何をするか知っていますか？悪はさらに悪化します。」ああ、今も悪いですが。しかし、悪からさらに悪くなり、そこからさらにさらに悪化(worser)していきます。そんな単語がないのは分かっています。メールしないで下さい。彼が言っているのはそういう事です。そこで、問題があります。それに対処しなければなりません。何が問題でしょうか？問題は、神の御言葉を受け入れ、読み、教え、聞き、、、そこで止まってしまうことです。そこで、”もしも迫害されるなら”ではなく、”迫害される”時”、そして迫害は、既に今ここにあります。気付いていらっしゃるかどうか分かりませんが、対応が必要です。私たちは、それ(迫害)を受け入れていないのです。繰り返しになりますが、私は必ずしも善意あるクリスチャンやクリスチャンになるであろう人を、責めているわけではありません。私は、生ぬるい説教壇に立っている牧師を責めているのです。彼らは、御言葉を説くのではなく、神の助言を説くのではなく、綿菓子のようなキリスト教を説く人たちです。実際、パウロがテモテに警告しているのを聞いたばかりですが、いえ、待ってください、それは起こっていますよね。ああ、木曜の夜のように、私は混乱してしまいました。皆さんの恵みに感謝します。木曜の夜、私は巨人を相手にして散漫になっていました。パウロはテモテに、ここで、終わりの時代に起こることを伝えています。自分たちの耳に心地よいことを教える教師たちのもとに、群がる人々が大勢出てきます。それが何を意味するか分かりますか？そのために、彼ら

は、御言葉と健全な教義を説いている説教者には、こう言うのです。「私たちは我慢なんてしないよ。」「そんなの必要ない。私たちは、健全な教義だなんて、認めない。なぜなら、この通りの先に教会があって、iPadを無料で配ってくれるんだから。」

ちなみに冗談ではありません。彼らの仕掛けです。ああ、因みに、一応言っておきますが、もしあなたがこのような教会に行かれるなら、私はそうすることはお勧めできませんが、教会に入ってまず気づくのはこれです。その場所はおしゃれで、牧師もかっこいい。ちなみに、皆さんの牧師とは違ってね。(笑)彼はスキニージーンズを履いて、ラテを持っています。良いですか、私は絶対にそんなことしません。それは残酷ですから。そして、礼拝といたら…「わお～！ほ～！！」「この人たちの演奏は最高だ。」ところで、礼拝の大部分がそうなんです。たぶん30分後くらいに、「牧師は出てくるの？」—はい。「誰が牧師？あれが牧師?!」—そうなんだ。「あの牧師、何歳だろ？」彼は出てきて、ある人が言った通り、クリスチャンっぽい人のために、説教っぽい話をします。20分。簡潔に、短く！そこにいる人を見てください。腕組みしながら、座って「ぶつぶつ…」因みに、(聖書など)もつてのほかです！ええ、特定の節に触れることはできます「第二テモテ3章10節から13節には触れない方が良いでしょう。でないと、『もう来ないからな！』となってしまう。」「私は他の教会を探します。」と。馬鹿げた例えだとは思いますが、本当のことです。彼らは、我慢する気はありません。ですから、クリスチャンへ言う事は、「これがその代償です。代価を考える必要があるのです。「これがこの先にあなたを待ち受けていることです。受け入れなければなりません。」「これが起こることです。そのための準備と確固たる心が必要なのです。」それを無視したり、否定したりすることは、自分の身に危険を冒すこととなります。その理由はこうです。なぜなら、再度、”もしも起こるなら”ではなく、それが起こる”時”、それは起こりますが、迫害に関連づけなくても、これは、人生においてぶち当たる壁や試練に関する分脈として置き換えることもできます。なぜなら私たちは必ず壁にぶち当たるからです。私は過去に、牧師が、綿菓子以外の何物でもない、生ぬるい教えをする教会に通っていました。私が得たことは、霊的な虫歯ばかりです。言い過ぎました。私は栄養失調です。霊的に、力も栄養もない。すっかり弱っています。だから、自分の息子が放蕩息子であったり、娘が路頭に迷っていたり、子どもが亡くなってしまうと、妻や夫は、「もうここから出て行く！」となるのです。人生には必ず試練があるのです！！叫ぶつもりはありませんが、しかし、私がキリストのもとに来て、新しく生まれ変わったとき、神の御言葉に堅固な基盤を得られたことを神に感謝しています。なぜなら、試練が訪れた時、他にどこに行けばいいのでしょうか。私は倒れ、落ち込み、崩れ落ちてしまいます。私は、起こるべきこと、起こるかもしれないことへの準備ができていないクリスチャンを、残念に感じます。実際には、クリスチャンにとって、今すでに、携挙の直前なのです。「でも牧師先生、携挙で、私達は連れ出されると、毎週仰ってますよね。」はい。そうです。しかし、その時までの間に、クリスチャンにと

って、事態がさらに悪化したら？ 迫害に遭うかもしれません。可能性は非常に高いです。実際には可能性もさることながら、あり得ることだと主張します。可能性よりも、確実にあり得ることです。そうです、私たちは苦難を経験します。”患難時代 (the tribulation)”ではありません。イエスは、ヨハネの福音書 16 章 33 節に記録されている通り 仰っています。「この世では、あなたがたは迫害を受けます。この世では、あなたがたには苦難があります。この世では、あなたがたには困難があります。しかし…！ 勇気を出しなさい。…」なぜでしょうか？なぜなら…「わたしはすでに世に勝ちました。わたしは、あなたがたをこの世から連れ出します。」使徒パウロはこう言うでしょう。「私たちはただの勝利者ではありません。私たちは勝利者以上です。」「あなたは勝利者ですか？ 私はそれ以上です。どんなもんだい！」私たちは、キリストにあってそのようなのです。また、ダビデがこの巨人を討ち取ることについて、「預言・アップ」でも話しました。神は、私たちに、一お聞きくださいー『敬虔な生きることを願う人々』に起こる事を、知ってほしいと願っておられます。これがこの先、起ころうとしていることです。敬虔な生き方をする人々が、このことを知っておくことで、”もし”ではなく、迫害された”とき”に備えることで、先手を打つことが出来るのです。それが、神があなたに知ってほしいと願われている事です。なぜなら、考えてみれば、不意を突かれると、事態は悪化するからです、そうですよね？ つまり、少なくとも心の準備ができていれば、完全に不意打ちを食らうことはないのです。なので、皆さんがここにおられるのです。世の中で起こっていることを見て、真剣になられたからです。主との関係を真剣に考えておられます。皆さんに喝采を送り、称賛します。でも、これを知る必要があります。神との関係に真剣な皆さんの決意とともに やって来ることです。繰り返しますが、「預言・アップ」でお話したように、私たちは戦場にいるのであって、遊び場ではありません。もう、教会ごっこや、キリスト教ごっこが許される 世の中ではありません。このすべてが起こる前は、もっと寛容だったかもしれません。今はそうではありません。もう元には決して戻れません。戻れません。終わりです。元には戻れません。もう時間がありません！ 私たちは、戦いの真ただ中にいます。これは霊的な領域での戦いなのです。真剣にならなければなりません。私たちは戦場にいるのであって、遊び場にいるわけではありません。遊んでる場合ではありません。真剣になる時です。締めくくりに入ります。皆さんの中には「イエス様、感謝します、彼の話が終わる (泣)」と思っらっしゃる方がいますね。2つの質問をして終わりにしたいと思います。そして、これらの質問は、私も含め私たち全員が、主に尋ね、よく考えるべきことです。なので、皆さんがこれらの質問を 良く考えてくださることを願います。この1つ目から始めます。迫害が、敬虔さに比例するという事は、迫害がないと、敬虔さが無い証拠という 意味なのではないでしょうか？ 同じ質問を別の方法で尋ねさせて下さい。自分のクリスチャン人生に迫害がないということは、自分のクリスチャン人生には、敬虔さが無いという 証拠なのではないでしょうか？ お聞きください。聖霊に皆さんの心を探っていただきまし

よう。聖霊に、皆さんの心の深くぼみに 自由に働いていただきましょう。そして、あなたの人生を破壊している、人生に住み着いているものは何であっても、聖霊に取り除いてもらいましょう。最後に、2つ目の質問です。悪と欺瞞を知りながらも…ところで、パウロは非常にはっきりこう言っています。「彼らは、だましたり、だまされたりして、」それは理にかなっていますね？13節です。なぜなら、だます者が、人をだますからです。分かりますか？もしあなたが欺かれていたら、あなたは人を欺くことになり、傷ついている人は、人を傷つける” という表現を聞いたことがありますか？それは欺きにも当てはまります。“欺かれている人は、人を欺く”さて、質問に戻りましょう。悪と欺瞞が、今更らに悪化しているのを知ることは、自分の中に、恐れを生み出すのでしょうか？それとも、あなたの信仰に真剣になるための、聖化された決意が生まれるのでしょうか？私は、後者であることを祈ります。私は、これを知り、これを理解し、また、こんにちの私たちの世界で、このことが起こっているのを目の当たりにすることが、あなたを目覚めさせ、揺さぶりさえする、非常に重要な効果があるのを祈ります。もう時間はありません。私は神のことについて、真剣に取り組む必要があります。もう遊んでばかりいられません。もう、適当にブラブラしている場合ではありません。時間が迫っています。それが、恐れと恐怖をもたらすかもしれません。何が起きているのかを見て、そして、私が「あなたは迫害される。では素敵な1日を」などと話すので、仕方ないかもしれません。そして、それが、あなたを怖がらせているのです。それは良いことかもしれません。それは良いことかもしれません。どういう意味でしょうか？それが必要なかもしれないのです。私たちは、神が私たちに恐れを 与えておられないことを知っていますが、しかし、私たちが”主への畏れ”と呼んでいるものがあります。「主を畏れることは、知恵の初め」(箴言 1:7) それは、悪を憎むことです。それが主を畏れることです。それが畏れです。もしかしたらこれは、あなたの中に”主への畏れ”を生み出すために 必要なかもしれません。旧約聖書に、こう書いてある箇所があります。「彼らの目には、神への畏れがなかった。」 「すべての人は、何でも自分の好むことをしていた。」 「神への畏れはなかった。」それは、こんにち起きていることへの適切な描写ではないでしょうか？ 神への畏れがありません。さて、そんな言葉で締めくくるのは嫌ですが、何人かの方は、そういう表情で私を見ておられますから。なので、お立ちください。私を見るのをやめて、祈りましょう。

主よ、私は最善を尽くしました。ここからは聖霊が引き継いで下さることに、主よ、本当に感謝します。なぜなら、今日、私たちがあなたの御言葉の中で 見て、聞いたことを、聖霊だけが引き継ぐことができ、私たちの人生と心に、必要な働きをして下さるからです。主よ、この先、私たちに起こるかもしれない事へと 私たちを備え、堅く立てるように下さり感謝します。主よ、あなたは私たちをととても愛して下さっているのです、私たちを備えさせたいと願っておられることを知っています。あなたは、私たちがつまづいたり、倒れたりするのを望んでおられません。主よ、あなたに従うことにはど

んな犠牲が伴うのか、しっかりと必要なことを思い出させて下さり、感謝します。主よ、私自身も含め、人々のために祈ります。今日は、代償について再認識するための、良き参考点になるかもしれません。主よ、ありがとうございます。私たちはあなたを愛しています。イエスの名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

hukuinn7

筆記